



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年7月31日

上場会社名 セブン工業株式会社  
コード番号 7896 URL <https://www.seven-gr.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 木下 浩一  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 田口 浩司 TEL 0574-28-7800  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

上場取引所 東 名

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,863	△10.5	△46	—	△39	—	△30	—
2023年3月期第1四半期	4,318	32.8	101	—	100	—	67	158.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△6.82	—
2023年3月期第1四半期	15.10	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	11,539	7,015	60.8
2023年3月期	11,825	7,090	60.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 7,015百万円 2023年3月期 7,090百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	8,200	△9.0	115	△47.4	110	△50.2	75	△49.7	16.80
通期	16,500	△6.5	310	△4.9	300	△8.7	200	△13.5	44.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	4,673,250株	2023年3月期	4,673,250株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	208,876株	2023年3月期	208,754株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	4,464,407株	2023年3月期1Q	4,464,659株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第1四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(重要な後発事象) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、日常生活及び経済活動が正常化するなか、世界情勢の不安定感及び昨年から続くエネルギーコストの高止まりや急激な物価高を受けた消費マインドの減退等、厳しい経済環境下で推移いたしました。

当社が属する住宅業界におきましても、資材価格の値上がり等に起因する住宅価格の高騰や不透明な経済環境を背景に持家を中心に新設住宅着工戸数は低水準で推移いたしました。

こうした厳しい状況下、収益性改善に資する取り組みや差別化と提案力の強化等に努めるとともに木材加工のプロフェッショナル企業として、木材の利用促進・省施工・省エネルギー住宅等社会的要望に応える施策及び戦略を進め、この数年掲げている「Be Professional」をスローガンに仕事の質的向上を図っております。

内装建材事業においては、省施工商品の拡充や非住宅分野への製品展開等を積極的に進めてまいりました。市況が低迷するなか、こうした取り組みにより階段事業を中心にOEMの販売は低調ながらも自社販売は堅調な推移となりました。また、厳しい事業環境が続くなか、収益体制の改善を最重要課題とし、販売価格の適正化、素材開発及び変更、生産性向上等に取り組み原価低減に努めてまいりましたが、収益性改善に資する取り組みは道半ばで、十分な改善には至らない結果となりました。

木構造建材事業においては、引き続き非住宅分野への領域拡大を図り、建装事業及びパネル事業の更なる需要深耕と差別化戦略を進め、特に新事業であるサッシ付パネル（NEO SMART PANEL）や共同住宅の省施工に対応する階段室のユニット化事業の推進など、木質の構造躯体における多面的な展開を図ってまいりました。一方、プレカット事業においては、ウッドショック終焉の反動や住宅着工の減少により価格競争の激化が進展するなか、事業環境は厳しくなっており、これらを打開する第2四半期以降の展開に向けた布石を講じてまいりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は、38億63百万円と前年同四半期と比較し4億55百万円

( $\Delta 10.5\%$ )の減収となりました。利益面では営業損失は46百万円（前年同四半期は営業利益1億1百万円）、経常損失は39百万円（前年同四半期は経常利益1億円）、四半期純損失は30百万円（前年同四半期は四半期純利益67百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産につきましては、115億39百万円となり、前事業年度末と比べ2億86百万円( $\Delta 2.4\%$ )の減少となりました。これは主に売上債権等の減少によるものであります。

負債につきましては、45億23百万円となり、前事業年度末と比べ2億11百万円( $\Delta 4.5\%$ )の減少となりました。これは主に仕入債務等の減少によるものであります。

純資産につきましては、70億15百万円となり、前事業年度末と比べ74百万円( $\Delta 1.1\%$ )の減少となりました。これは主に期末配当の実施及び四半期純損失の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は前事業年度末と比べ0.8ポイント増加の60.8%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

事業環境は不透明感が極めて強いことが予想されますが、収益改善に資する施策を着実に実行することで、第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、2023年4月28日に公表しました予想からは変更ありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	775	742
受取手形、売掛金及び契約資産	3,948	3,649
電子記録債権	914	914
商品及び製品	286	289
仕掛品	542	532
原材料及び貯蔵品	924	906
その他	155	133
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	7,541	7,161
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	679	669
土地	2,880	2,880
その他（純額）	442	526
有形固定資産合計	4,002	4,076
無形固定資産	63	72
投資その他の資産		
前払年金費用	98	98
その他	119	130
投資その他の資産合計	218	228
固定資産合計	4,284	4,377
資産合計	11,825	11,539
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,420	1,253
電子記録債務	998	833
短期借入金	250	350
1年内返済予定の長期借入金	328	305
未払法人税等	31	14
賞与引当金	130	75
その他	528	641
流動負債合計	3,687	3,475
固定負債		
長期借入金	960	886
役員退職慰労引当金	50	52
資産除去債務	3	3
その他	33	105
固定負債合計	1,047	1,048
負債合計	4,734	4,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,675	2,675
利益剰余金	2,185	2,110
自己株式	△244	△244
株主資本合計	7,090	7,014
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	0
評価・換算差額等合計	0	0
純資産合計	7,090	7,015
負債純資産合計	11,825	11,539

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,318	3,863
売上原価	3,686	3,378
売上総利益	631	485
販売費及び一般管理費	530	532
営業利益又は営業損失(△)	101	△46
営業外収益		
受取配当金	—	5
受取手数料	0	0
資材売却益	0	0
その他	0	2
営業外収益合計	1	9
営業外費用		
支払利息	1	1
その他	0	0
営業外費用合計	1	1
経常利益又は経常損失(△)	100	△39
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産廃棄売却損	0	—
特別損失合計	0	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	100	△39
法人税、住民税及び事業税	3	3
法人税等調整額	29	△13
法人税等合計	33	△9
四半期純利益又は四半期純損失(△)	67	△30

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。